



# ソマリア民主共和国

Somali Democratic Republic

2007年11月現在



注:「ソマリア民主共和国」は、1991年に内戦が勃発、現在に至るまで対立勢力間の抗争が続いており、全土を実効的に支配する統一政府は存在しない。**我が国は政府未承認。**

## 一般事情

- 1.面積 63万8千平方キロメートル(日本の約1.8倍)
- 2.人口 820万人(2005年:世銀)人口増加率3.3%(2005年:世銀)
- 3.首都 モガディシュ(人口約100万人)
- 4.住民 ソマリ族(民族的には一つだが、多数の氏族に分かれる)
- 5.言語 ソマリ語(公用語)、英語、イタリア語、アラビア語
- 6.宗教 イスラム教(95%)
- 8.通貨 ソマリア・シリング(S.sh)  
為替レート N.A.  
補助通貨単位 -

## 9.査証(ビザ)

10.在留邦人数 0人(2007年1月現在) コンセント・タイプ

11.在日当該国人数 1人(2003年)

12.電源 - V - Hz

13.国際電話 国番号 252 国際通話コード 16

14.シガレット 小売価格 - US\$ (20本当り)

税率 - %

製造数量 - (百万本/年)

シガレットメーカー

## 15.略史

年月	略史
1887年	ソマリア北部英保護領となる
1889年	ソマリア南部伊保護領となる
1960年6月	英領独立、7月伊領独立し、旧英領地域と合わせソマリア独立
1969年10月	革命によりシルマルケ大統領暗殺、バレ少将、最高革命評議会議長に就任
1976年7月	ソマリア社会主義革命党設立、バレ議長、党書記長に就任
1977~1978年	オガデン紛争(エチオピアと交戦)
1980年1月	バレ書記長、大統領に就任
1988年4月	エチオピアと外交関係再開
1988年5月	北部で反政府勢力との戦闘激化
1989年7月	首都で暴動発生
1991年1月	バレ大統領首都を追われる。全国的に内戦状態に。
1992年12月	国連安保理の決議を受け統一タスクフォース(UNITAF)展開。
1994年3月	紛争当事者間による和平合意(停戦及び新大統領選出成立)、第二次国連ソマリア活動(UNOSOM II)より米軍撤退。
1995年1月	バレ前大統領、逃亡先のナイジェリアで死去
1995年3月	第二次国連ソマリア活動完全撤退
2000年8月	ジブチにて暫定政府樹立
2002年10月	ケニアにてソマリア国民和解会議開催
	停戦合意成立
2004年8月	ナイロビにおいて暫定連邦議会発足
2004年10月	アブドゥラヒ・ユスフ氏がソマリア共和国暫定大統領に選出
2004年11月	ユスフ大統領はアリ・モハメド・ゲディ氏を暫定連邦政府首相に任命
2005年1月	ゲディ首相は内閣を発表、暫定連邦政府がナイロビにて設立
2006年2月	バйдアにて暫定連邦議会が開催
2006年12月	暫定連邦政府、首都モガディシュを含む中南部地域を制圧
2007年1月	アフリカ連合(AU)は、AUソマリア平和維持部隊(AMISOM)の部隊展開を承認。
2007年2月	国連安保理は、決議1774を採択。AMISOM展開を承認。
2007年8月	暫定連邦政府は、「国民和解会議」を開催。
2007年9月	イスラム法廷連合は、エリトリアのアスマラにて、「リマリ解放・再生会議」を開催。

16.在外大使館・領事館 なし

17.駐日大使館・領事館 なし

## 政治体制・内政

- 1.政体
- 2.元首
- 3.議会
- 4.内政

(1) 社会主義を標榜し、東側よりの政策を続けていたが、1977年のエチオピアとのオガデン紛争の際、ソ連がエチオピアを支持したため、西側路線に変更。

(2) 1989年7月の首都暴動以降、バレ政権は急激に弱体化。1991年11月バレ大統領が首都を追われ、氏族を基盤とする武装勢力間の内戦状態となる。

(3) 内戦による極度の治安悪化と早魃により中・南部を中心に深刻な餓死が発生、被災民援助を行う国連ソマリア活動(UNOSOM)支援のため、1992年12月国連安保理決議により米軍中心の統一タスクフォース(UNITAF)を派遣。

(4) UNITAFは、1993年4月に強制的な武装解除のマンデート含む第二次国連ソマリア活動(UNOSOM II)へと継承されたが、現地武装勢力との間で、武力衝突が発生し、1995年3月に撤退。

その後、エチオピア、エジプト等近隣諸国の和平仲介が行われるが、国民和解実現には至らなかった。

(5) 北西部ソマリランドは、1991年5月に独立宣言し、以後、イサクク氏族が比較的安定的に支配。北東部のプントランドでも、1998年より、ダロッド氏族が独自の地方行政組織の設立する等、北部地域は比較的安定している。

(6) ジブチのイニシアティブによるアルタ和平会議において、2000年8月にアブディカシム・サラ・ハッサン大統領が選出され、暫定政府が発足。

しかし、北部ソマリランド、プントランドを含む対立各派は同暫定政府を批判しており、対立勢力による武力衝突が引き続き発生している。

(7) 2002年10月より、政府間開発機構(IGAD)主導によるソマリア国民和解会議がケニアにて開催。

(8) 2004年8月にケニアのナイロビに暫定連邦議会が発足し、同議会が同年10月に大統領を選出した。アブドゥラヒ・ユスフ大統領は11月にゲディ氏を首相に任命し、2005年1月にゲディ首相の組閣した内閣が議会によって承認された。

同年6月、暫定連邦政府(TFG)はソマリア入りし、ジョホールを暫定首都とした。

(9) 2006年5月「イスラム法廷連合(UIC)」と「平和復興・反テロ連盟」との間で戦闘が激化し、多数の死傷者が発生。

(10) 2006年12月、暫定連邦政府が、首都モガディシュを制圧。

(11) 2007年11月、暫定連邦政府に反対する勢力が、モガディシュにてゲリラ戦術による抵抗を強化。

## 外交・国防

### 1.外交基本方針

非同盟中立を標榜する社会主義国家であったが、1977年オガデン紛争を境に西側に接近、米国より軍事援助を享受。

1991年より無政府状態。

### 2.軍事力

### 経済(単位 米ドル)

- 1.主要産業 畜産業(羊、山羊、牛等)、農業(バナナ)
- 2.GDP N.A.
- 3.一人当たりGDP N.A.
- 4.経済成長率 N.A.
- 5.物価上昇率 N.A.
- 6.失業率 N.A.
- 7.総貿易額 920百万ドル(推定)
- 8.主要貿易品目

(1)輸出 家畜、バナナ、皮革、水産物

(2)輸入 工業製品、石油製品、食料

### 9.主要貿易相手国(2005年)

(1)輸出 UAE、イエメン、ナイジェリア、クウェート

(2)輸入 ジブチ、ケニア、インド、ブラジル、オマーン

### 10.通貨

### 11.為替レート

N.A.

### 12.経済概況

経済は放牧・農業が中心で、外貨獲得源に恵まれず、国際収支は慢性的に入超、貿易収支も恒常的に赤字、外国よりの贈与、借款等に依存していたが、1991年1月以降の内戦により国内インフラはその多くが破壊された。

援助は人道的なものを除き全て停止され、その人道援助についても、内戦と早魃により多数の被災民が発生しているにもかかわらず治安悪化によりその実施が困難に陥り、現在も基本的に同様の状況が継続している。

## 経済協力

### 1.我が国の援助実績

(1)有償資金協力(2004年度まで、ENベース) 64.70億円

(2)無償資金協力(2004年度まで、ENベース) 178.75億円

(3)技術協力実績(2004年度まで、JICAベース) 8.68億円

### 2.主要援助国(2003年 単位:百万ドル)

(1)ノルウェー(40.0) (2)米(33.8) (3)オランダ(10.3) (4)伊(7.8)

## 二国間関係

### 1.政治関係

1960年7月1日 国家承認  
1982年10月1日 在日ソマリア大使館開設、但し、1990年7月1日閉鎖。  
(我が国は在エチオピア大使館が兼轄)

### 2.経済関係

- (1)わが国の対ソマリア貿易  
(イ)貿易額(2005年:財務省貿易統計)  
輸出 0.28億円  
輸入 0.61億円  
(ロ)主要品目  
輸出 自動車、貨物自動車  
輸入 生鮮魚類、ごま  
(2)我が国からの直接投資  
なし

### 3.文化関係

顕著な活動なし。

### 4.在留邦人数

0人(2007年1月現在)

### 5.在日当該国人数

1人(2003年)

### 6.要人往来

#### (1)往

年月	要人名
1984年7月	北川外務政務次官
1985年4月	海江田参議院議員
1993年1月	鈴木衆議院議員
1993年1月	柿沢外務政務次官

#### (2)来

年月	要人名
1979年12月	バレ外務大臣
1981年2月	アリ水産大臣
1983年11月	シアード郵政・通信大臣
1985年10月	オスマン大蔵大臣
1987年4月	タラ国連難民特別弁務官
1988年7月	ハムッド外務担当国務大臣
1989年2月	オスマン大統領府大臣 (大喪の礼参列)
1990年4月	ジャワリ土地航空運輸大臣
1990年10月	クルミエ国会議長(即位の礼参列)

### 7.二国間条約・取極

なし